

このプレスリリースには日本国内において未承認の薬剤、適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

報道関係各位

2024年2月26日

ジェンマブ株式会社

ジェンマブ、第21回日本臨床腫瘍学会学術集会で研究開発の進捗を発表

- 血液腫瘍、固形がん領域において、Presidential Sessionを含む6演題を発表

ジェンマブ株式会社（本社 東京都港区、代表取締役社長 クリストファー・ダール）は、2月22日から24日まで名古屋で開催された第21回日本臨床腫瘍学会学術集会（JSMO2024）において、血液腫瘍および固形がん領域における試験データにつき Presidential Session を含む6つの演題が採択され、発表を行いましたことをお知らせいたします。

本学術集会では、血液腫瘍においては、ジェンマブの独自技術 DuoBody[®]を用いて創製された皮下投与の二重特異性抗体エブコリタマブについて、再発又は難治性の大細胞型 B 細胞リンパ腫（LBCL）や濾胞性リンパ腫（FL）の患者さんを対象とした単剤療法の海外第 I/II 相臨床試験（EPCORE[™] NHL-1 試験）および国内第 I/II 相臨床試験（EPCORE NHL-3 試験）の結果、ならびに2回以上の全身療法を受けた日本人 LBCL 患者さんを対象としたリアルワールドにおける治療パターンとアウトカムに関して、5つの口頭発表で紹介しました。

また、固形がんにおいては、組織因子(TF)を標的としたヒトモノクローナル抗体と微小管阻害薬モノメチルアウリスタチン E (MMAE) を結合させた抗体薬物複合体 (ADC) であるチソツマブ ベドチンについて、一次治療中または治療後に病勢進行が認められた再発又は転移を有する子宮頸がん患者さんを対象とした単剤療法と化学療法単独を比較した第Ⅲ相国際共同試験（innovaTV 301 試験）の結果についても口頭発表で紹介しました。

当社は、抗体に関する深い知識と専門性に基づいた革新的な抗体医薬品を、新たな治療選択肢を必要とする日本のがん患者さんに1日も早く届けられるよう、がん領域における研究開発をさらに進めてまいります。

第21回日本臨床腫瘍学会学術集会で採択されたジェンマブの6つの演題は以下の通りです。

血液がん：

抄録番号	演題、演者	発表形式	発表日時
O16-5	Epcoritamab in Japanese Patients With Relapsed/Refractory Diffuse Large B-Cell Lymphoma: EPCORE NHL-3 Longer-Term Data 伊豆津 宏二 (Department of Hematology, National Cancer Center Hospital)	Oral	2月24日(土) 8:20-9:50
MO20-2	Longer-Term Follow-up Shows Epcoritamab Drives Deep, Durable Responses in Patients With Relapsed/Refractory Follicular Lymphoma (R/R FL) 伊豆津 宏二 (Department of Hematology, National Cancer Center Hospital)	Mini Oral	2月22日(木) 16:15-17:15
O16-4	Mitigating the Risk of Cytokine Release Syndrome (CRS) in Cycle 1: Preliminary DLBCL Data from the EPCORE NHL-1 Trial Julie M Vose (University of Nebraska Medical Center)	Oral	2月24日(土) 8:20-9:50
PS2-3	Epcoritamab SC in Patients With Relapsed/Refractory (R/R) Follicular Lymphoma (FL): EPCORE NHL-1 Dose Expansion Kim M Linton (The Christie NHS Foundation Trust and Manchester Cancer Research Centre)	Oral (Presidential Session)	2月23日(金) 8:40-11:20
MO20-6	Real-World Treatment Patterns and Outcomes in Japanese Patients With Large B-Cell Lymphoma After Two Systemic Therapies Laura Liao (Genmab, US Inc.)	Mini Oral	2月22日(木) 16:15-17:15

固形がん：

抄録番号	演題、演者	発表形式	発表日時
O13-4	innovaTV 301: A Phase 3 Study of Tisotumab Vedotin vs Chemotherapy in 2L or 3L Recurrent or Metastatic Cervical Cancer 米盛 勸 (National Cancer Center Hospital)	Oral	2月23日(金) 8:20-9:50

エプコリタマブについて

エプコリタマブは、ジェンマブの独自技術 DuoBody[®]を用いて創製された IgG1 二重特異性抗体であり、皮下投与されます。ジェンマブの DuoBody-CD3 技術は、細胞傷害性 T 細胞に選択的に作用し、標的細胞に対する免疫反応を誘導する技術です。エプコリタマブは T 細胞上の CD3 と B 細胞上の CD20 に同時に結合するよう設計されており、T 細胞による CD20 陽性細胞傷害を誘導します。¹

エプコリタマブ(製品名エプキンリ[®])は日本において抗 CD20 モノクローナル抗体製剤を含む少なくとも 2 つの標準療法後の再発又は難治性の大細胞型 B 細胞リンパ腫 (びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫、高悪性度 B 細胞リンパ腫、原発性縦隔大細胞型 B 細胞リンパ腫) および再発又は難治性の濾胞性リンパ腫 (Grade 3B) に対して承認されています。また米国および EU ではそれぞれ製品名 EPKINLY[®]、TEPKINLY[®]でリンパ腫におけるいくつかの適応にて規制当局より承認されています。エプコリタマブは、ジェンマブとアッヴィのがん領域におけるグローバルな提携関係の下、両社が共同開発中の薬剤です。

ジェンマブ株式会社について

ジェンマブは、デンマークに本社を置く、グローバルに展開するバイオテクノロジー企業です。がんと向き合う患者さんの人生をより豊かにすることを使命とし、ジェンマブ抗体技術プラットフォームを用いて生み出された抗体医薬品 daratumumab、ofatumumab、teprotumumab、amivantamab、tisotumab vedotin、teclistamab、epcoritamab、talquetamab は、パートナー企業とともに世界中の患者さんのがんと生きる日々の力となっています。

当社はこれまでの創薬・研究開発に特化したビジネスモデルから、自社開発・自社販売を行う企業として、日本においては 2019 年に日本法人を設立しました。「その人の“生きる”のそばで」をコーポレートステートメントに、革新的な抗体医薬の技術で、医療従事者の方々と共に、患者さんに寄り添える存在になりたいと願っています。詳細については、当社ウェブサイト (<https://genmab.co.jp/>) をご覧ください。

¹ Engelberts PJ, Hiemstra IH, de Jong B, et al. DuoBody-CD3xCD20 induces potent T-cell-mediated killing of malignant B cells in preclinical models and provides opportunities for subcutaneous dosing. *EBioMedicine*. 2020;52:102625. DOI: 10.1016/j.ebiom.2019.102625.